

卒業式

3月8日に開催された卒業式では、小学6年生と中学3年生が無事卒業しました。実は、この卒業式は過去3年間で初めて、在校生・保護者・教職員、さらに日本人学校を支える全ての方々が同じ場所で集結することができ、共に過ごす喜びが溢れる感動的な式典となりました。

「雪に耐えし梅花麗し」、これは卒業生が答辞で紹介した西郷隆盛の漢詩の一節です。厳しい冬の寒さに耐えてこそ、梅の花は美しい花を咲かせることから、苦難や試練を経てこそ真価が発揮されることを意味しています。今年はコロナ禍により教育活動が制限され、予定していた行事も計画通りに進まないことが多く、特に6年生や中学3年生は挫折感を味わったことでしょう。しかし、そのような中でも彼らが前向きな姿勢でリーダーシップを発揮し、できることに焦点を当てたアイデアとチャレンジを実践して学校の雰囲気を明るく照らしました。これらの経験の中で、咲かせた成長の花や学びの実は、変化に富むこれからの未来でも必ず役立つでしょう。

廣州日本人学校の職員一同は、卒業生が今後も力強く成長し、永遠に栄光の光が差すことを願っています。そして、彼らが歩む道において、道標の鐘となるよう学校も成長を続けます。ご卒業おめでとうございます。

